

相馬福島道路(霊山道路)
りょうぜん

ふくしまインフラ長寿命化研究会による現場見学会のお知らせ

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。
この度、犬飼大橋上部工工事において、ふくしまインフラ長寿命化研究会
(会長：岩城一郎日大工学部教授)による現場見学会を開催し、新設構造物における
長寿命化の取り組みや、施工状況などについて情報交換を行います。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）
であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけ
られています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には
緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙2参照】

ふくしまインフラ長寿命化研究会は、福島県内の主として市町村で管理するインフラを対象に、将来にわ
り、安全に、そして安心して使えるよう、合理的で、実効性のある方策を提言し、実践するための組織として
平成25年4月に設立されました。

1. 日 時 : 平成27年7月21日(火) 10:00~12:00
2. 場 所 : 福島県伊達市月舘町布川地内(犬飼大橋) 【別紙1参照】
3. 参 加 者 : ふくしまインフラ長寿命化研究会(施工部会)約20名
3. そ の 他 : 取材を希望される方は、9:50までに集合場所にお越し下さい。
※雨天でも開催します。

【発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、東北専門記者会】

問い合わせ先

《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)

副 所 長 あか さか ひろし
赤 坂 浩 (内線205)

工務第二課長 おやまだ かつらお
小山田 桂夫(内線411)

《見学会に関すること》

国道115号犬飼大橋上部工工事 オリエンタル白石現場事務所 電話 024-572-3971

監理技術者 め とき いずみ
目 時 泉

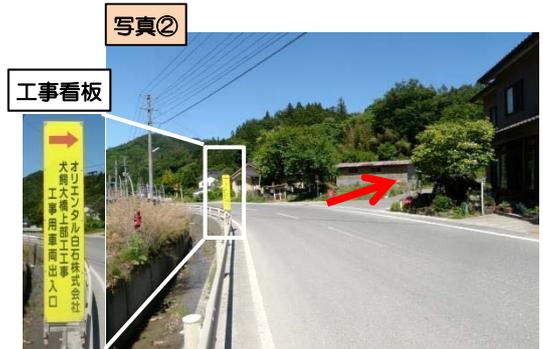
《研究会に関すること》

ふくしまインフラ長寿命化研究会 事務局 日本大学工学部土木工学科8号館310号室

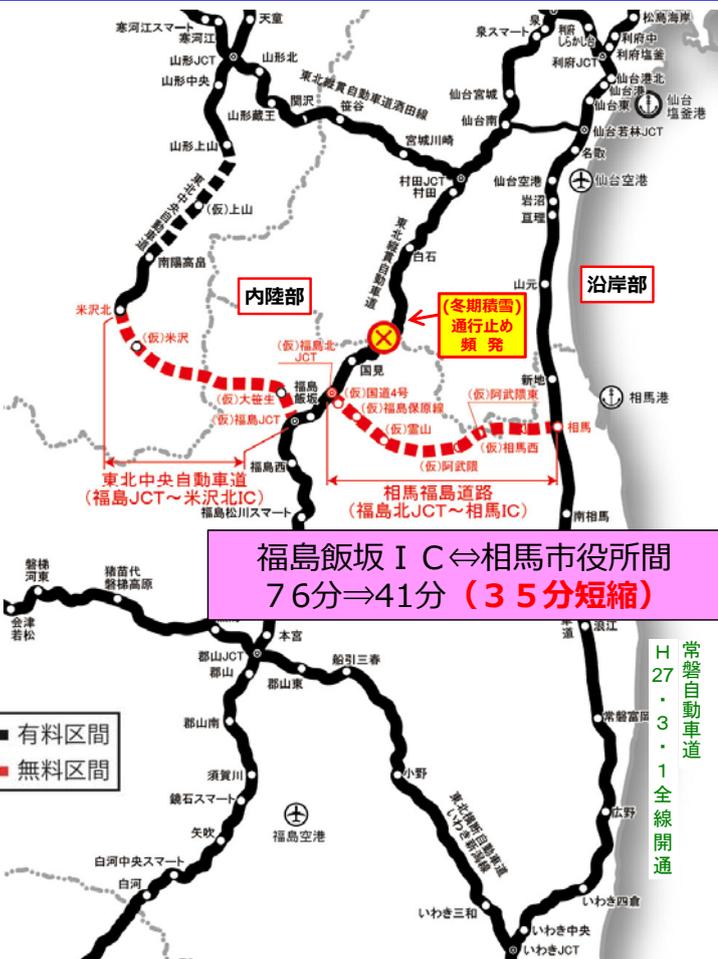
電話 024-956-0001 施工部会長 みやい たかとし
宮井 隆利 (会津土建)

現場案内図

別紙1



メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



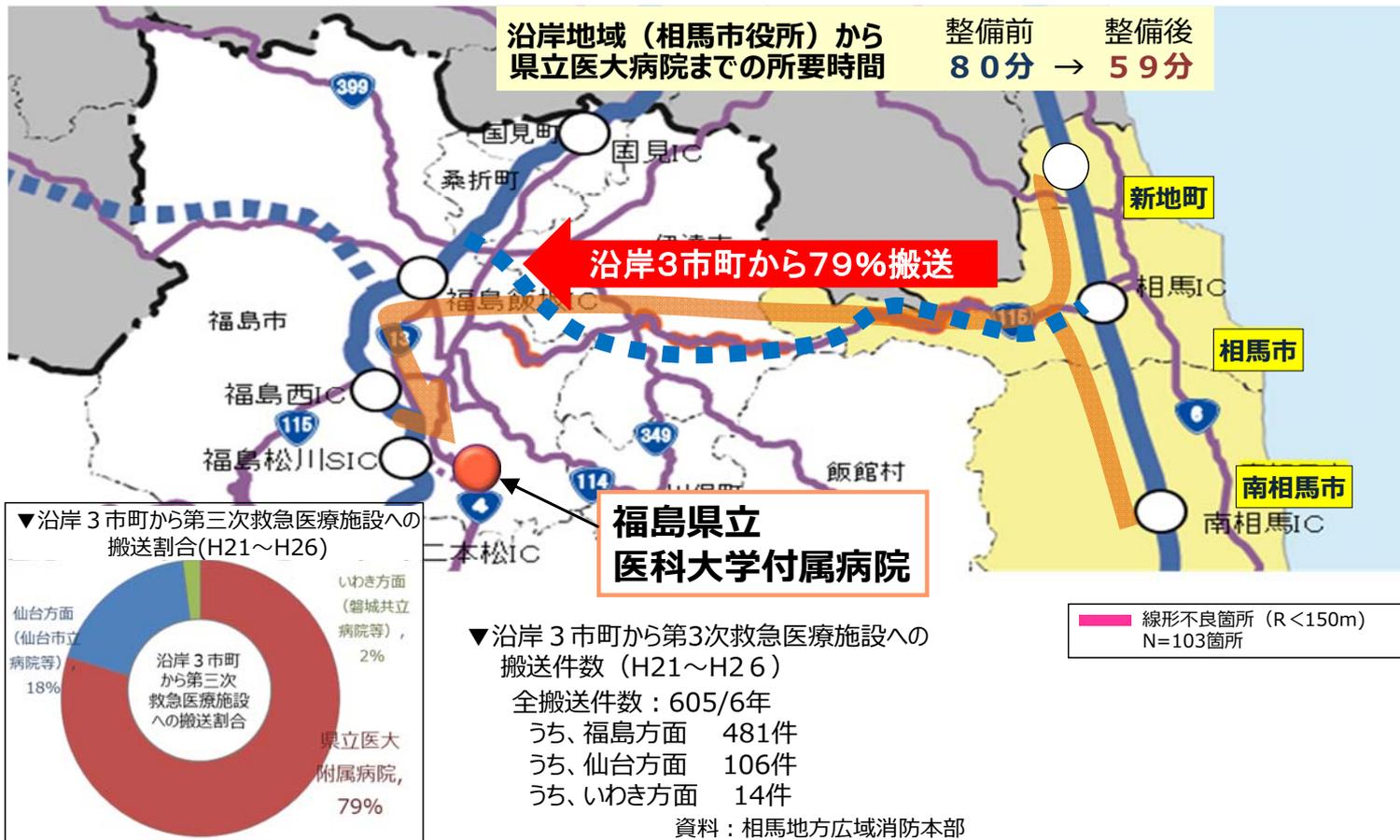
国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減

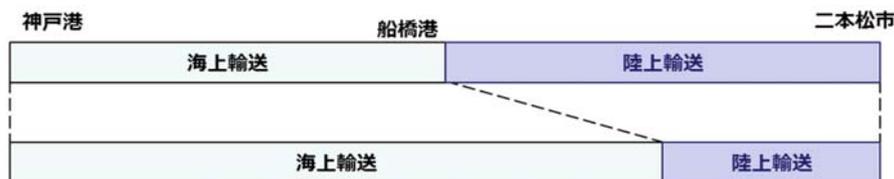


輸送方法の切り替えイメージ



before

after



相馬港